

こころのはな

道徳教育について



本校では、今年度も「思いやり・親切」「郷土や国を愛する心」を中心に、道徳教育を推進していきます。学校の教育活動の全てを通して行われ

るのが、道徳教育です。例えば、国語の学習では、登場人物の気持ちを考えることで人の気持ちをくみ取る力をつけていきます。その他にも学校生活の様々な場面や行事を通して、子どもたちは日々たくさん

のことを学んでいます。その要として、毎週一時間行われる「道徳の時間」があります。学校生活の中では学べないことを補ったり、子どもたちが日々の生活の中で体験したことを自分とのかかわりの中で深めたり、発展させたりしていきます。今年度も、この道徳だよりで、年間を通して道徳の時間や行事での児童の様子をお伝えしていきたいと思

います。道徳教育の効果を高めるためには、家庭や地域との連携を図ることが大切だと言われています。ご家庭でも保護者の方々と児童と一緒に考えたり話し合ったりして、子どもたちの豊かな心の成長に役立てていただきたいと思います。ご協力をお願いいたします。

道徳の時間の様子 1年生「ありがとう」～感謝する心～

「道徳は『心』の勉強。自分の気持ちをみんなに知ってもらおう勉強。みんなの気持ちを知る勉強。間違いはないのだよ。」と伝えてから『ありがとう』の学習をしました。

教科書の挿絵を見ながら話し合うことで、自分が生活をしていくうえで、様々な場面でお世話になっていることに気がつくことができました。そして、お世話になっている人に感謝しようとする気持ちについて、自分の考えを発表しました。振り返りでは、道徳ノートに「ありがとう」を言いたい人を見つけてたくさん丸をつける姿が見られました。



子どもたちの様子

- ・お世話になっている人がたくさんいるな。
- ・みんなの安全を見ていてくれる人に「ありがとう」を言いたい。
- ・「ありがとう」と言うといい気持ちになる。
- ・これからも「ありがとう」をいっぱい言いたいな。

